

# 岐阜県公報

号外(三) 平成三十年三月一日

## 目次

### 教育委員会規則

岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則

(学校支援課) 一

岐阜県立高等学校管理規則の一部を改正する規則

(同) 三

岐阜県立特別支援学校管理規則の一部を改正する規則

(特別支援教育課) 四

## 教育委員会規則

岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則をここに公布する。

平成三十年三月一日

岐阜県教育委員会

教育長 松川 禮子

岐阜県教育委員会規則第一号

岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則

(趣旨)

第一条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和三十一年法律第百六十二号。以下「法」という。)(第四十七条の六第一項の規定に基づき、学校運営協議会(以下「協議会」という。)(の設置等に関し、必要な事項を定めるものとする。(協議会の設置の通知)

第二条 岐阜県教育委員会(以下「教育委員会」という。)(は、協議会を置くときは、対象学校(法第四十七条の六第二項第一号に規定する対象学校をいう。以下同じ。)(にその旨を通知するものとする。

(協議会の組織)

第三条 協議会は、委員五人以内で組織する。  
2 委員は、次に掲げる者(対象学校の職員を除く。)(で対象学校の校長(以下「校長」という。)(の推薦のあったものうちから、教育委員会が任命する。

- 一 対象学校の所在する地域の住民
- 二 対象学校に在籍する生徒、児童又は幼児の保護者

三 社会教育法(昭和二十四年法律第二百七号)(第九条の七第一項に規定する地域学

校協働活動推進員その他の対象学校の運営に資する活動を行う者  
 四 前三号に掲げるもののほか教育委員会が必要と認める者  
 (委員の任期)

第四条 委員の任期は、一年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(委員の守秘義務)

第五条 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(委員の解任)

第六条 教育委員会は、委員が、その職務の遂行に支障があるとき、その職務を怠ったとき又は委員たるにふさわしくない非行があったときは、これを解任することができる。

(協議会の会長及び副会長)

第七条 協議会に、会長及び副会長各一人を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(協議会の会議)

第八条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、会長が、校長と協議の上、毎年三回招集する。ただし、会長及び副会長が選出されていないとき、又は緊急を要するときは、校長が招集することができる。

2 会議の議長は、会長をもって充てる。

3 会議は、委員の過半数及び校長が出席しなければ、開くことができない。

4 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

5 委員は、自己の利害に関係する議事に参与することができない。

6 会長は、校長と協議の上、必要に応じて、対象学校の職員の参加を求めることができる。

(会議の公開)

第九条 会議は、公開するものとする。ただし、職員の任用に関する事項を議事とする

場合その他協議会が会議を公開すべきでないと認める場合は、この限りでない。

(協議会の承認)

第十条 校長は、次に掲げる事項について、毎年度、基本的な方針を作成し、協議会の承認を得なければならない。

一 教育課程の編成に関する事項

二 学校経営計画に関する事項

三 学校の組織編成に関する事項

四 前三号に掲げるもののほか、学校運営について教育委員会が必要と認める事項

2 校長は、前項の規定により承認を得た基本的な方針に従って学校経営を行うものとする。

(学校運営等に関する意見の申出)

第十一条 協議会は、対象学校の運営に関する事項について、教育委員会又は校長に対し、意見を述べることができる。

2 協議会は、対象学校の職員の任用に関する事項であつて学校運営に関する基本方針の実現に資するもの(特定の個人に係るものを除く。)について、教育委員会に対し、意見を述べることができる。

3 協議会は、前二項の規定により教育委員会に対して意見を述べようとするときは、あらかじめ校長の意見を聴くものとする。

(学校運営等に関する情報提供等)

第十二条 協議会は、対象学校の運営及び当該運営への必要な支援に関し、対象学校の所在する地域の住民、対象学校に在籍する生徒、児童又は幼児の保護者その他の関係者の理解を深めるよう努めるものとする。

2 協議会は、対象学校と対象学校の所在する地域の住民、対象学校に在籍する生徒、児童又は幼児の保護者その他の関係者との連携及び協力の推進に資するため、対象学校の運営及び当該運営への必要な支援に関する協議の結果に関する情報を積極的に提供しよう努めるものとする。

(協議会への情報の提供等)

第十三条 教育委員会は、協議会に対し、その運営について必要な情報の提供又は指導及び助言を行うものとする。

(協議会の適正な運営の確保に必要な措置に係る通知)

第十四条 教育委員会は、協議会の適正な運営を確保するために必要な措置を講じよう

とするときは、あらかじめ、対象学校に、理由を付して、その旨を書面により通知しなければならない。

附則

この規則は、平成三十年四月一日から施行する。

岐阜県立高等学校管理規則の一部を改正する規則をここに公布する。

平成三十年三月一日

岐阜県教育委員会  
教育長 松川 禮子

岐阜県教育委員会規則第一号

岐阜県立高等学校管理規則の一部を改正する規則

岐阜県立高等学校管理規則（昭和三十九年岐阜県教育委員会規則第三号）の一部を次のように改正する。

第五条第一項中「準用する」の下に「規則」を加え、同項中第五号を第六号とし、第四号を第五号とし、第三号の次に次の一号を加える。

四 家庭及び地域における体験的な学習活動その他の学習活動のための休業日 四月一日から翌年三月三十一日までの間（前三号に規定する期間を除く。）において校長が定める日又は期間

第五条中第四項を第五項とし、第三項を第四項とし、第二項の次に次の一項を加える。

3 校長は、第一項第四号の休業日を定める場合においては、体験的学習活動等休業日指定届（別記第二号様式の一）によりあらかじめ教育委員会に届け出なければならない。

第七条の二第二項中「学校評議員」の下に「学校運営協議会の委員（以下「学校運営協議会委員」という。）」を加え、同条第二項及び第三項中「学校評議員」の下に「学校運営協議会委員」を加える。

第十八条の次に次の一条を加える。

（特別支援教育コーディネーター）

第十八条の二 学校の課程ごとに、特別支援教育コーディネーターを置く。ただし、特別支援教育コーディネーターの担当する校務を整理する主幹教諭を置く学校について

は、この限りでない。

2 特別支援教育コーディネーターは、特別支援教育の推進に関する事項をつかさどり、当該事項について連絡調整及び指導助言に当たる。

3 特別支援教育コーディネーターは、当該学校の教頭、教諭又は養護教諭の中から、教育委員会の承認を得て、校長が命ずる。

第二十九条の三第一項に次のただし書を加える。

ただし、学校運営協議会を置く場合は、この限りでない。

別記第一号様式中「第5号様式1項第5号」を「第5号様式1項第6号」に、「第5号様式1項第6号」を「第5号様式1項第5号」に改める。

別記第二号様式の次に次の一様式を加える。

第2号様式の2 (第5条関係)

第 号  
年 月 日

岐阜県教育委員会 様

岐阜県立 高等学校長

氏 名 印

体 験 的 学 習 活 動 等 休 業 日 指 定 届

次のとおり休業したいので岐阜県立高等学校管理規則第5条第3項の規定に基づき届け出ます。

休業日としてようとする日	既休業日数 (学年末及び学年始め、夏季並びに冬季における休業日を除く。)	摘 要
期 間	日 数	
年 月 日 から 年 月 日まで	日	
備 考		

別記第二号様式中「第5条第3項」を「第5条第4項」に改め、同様式中「日曜日」を「土曜日、日曜日及び祝日」に改める。

附 則

この規則は、平成三十年四月一日から施行する。

岐阜県立特別支援学校管理規則の一部を改正する規則をここに公布する。

平成三十年三月一日

岐阜県教育委員会  
教育長 松 川 禮 子

岐阜県教育委員会規則第三号

岐阜県立特別支援学校管理規則の一部を改正する規則

岐阜県立特別支援学校管理規則 (昭和二十九年岐阜県教育委員会規則第四号) の一部を次のように改正する。

第四条第一項中第五号を第六号とし、第四号を第五号とし、第三号の次に次の一号を加える。

四 家庭及び地域における体験的な学習活動その他の学習活動のための休業日 四月一日から翌年三月三十一日までの間 (前三号に規定する期間を除く。) において校長が定める日又は期間

第四条中第四項を第五項とし、第三項を第四項とし、第二項の次に次の一項を加える。

3 校長は、第一項第四号の休業日を定める場合においては、体験的学習活動等休業日指定届 (別記第二号様式の二) によりあらかじめ教育委員会に届け出なければならない。

第六条の二第一項中「学校評議員」の下に、「学校運営協議会の委員 (以下「学校運営協議会委員」という。)」を加え、同条第二項及び第三項中「学校評議員」の下に、「学校運営協議会委員」を加える。

第十九条の次に次の一条を加える。

(特別支援教育コーディネーター)

第十九条の二 学校に、特別支援教育コーディネーターを置く。ただし、特別支援教育コーディネーターの担当する校務を整理する主幹教諭を置く学校については、この限

りでない。

2 特別支援教育コーディネーターは、特別支援教育の推進に関する事項をつかさどる当該事項について連絡調整及び指導助言に当たる。

3 特別支援教育コーディネーターは、当該学校の教頭、教諭又は養護教諭の中から、教育委員会の承認を得て、校長が命ずる。

第二十五条の三第一項に次のただし書を加える。

ただし、学校運営協議会を置く場合は、この限りでない。

別表岐阜県立大垣特別支援学校の部の次に次のように加える。

岐阜県立西濃高等特別支援学校	高等部	全日制の課程	総合産業科	知的障害者に対する教育
----------------	-----	--------	-------	-------------

別記第一号様式中「第4条第1項第5号」を「第4条第1項第6号」に、「冬季休業日」を「並びに必修における休業日」に改める。

別記第二号様式の次に次の一様式を加える。

第2号様式の2 (第4条関係)

岐阜県教育委員会 様

岐阜県立 学校長 氏 名

体 験 的 学 習 活 動 等 休 業 日 指 定 届

次のとおり休業したいので岐阜県立特別支援学校管理規則第4条第3項の規定に基づき届け出ます。

休業日としてする日		既休業日数 (学年末及び学年始め、夏季並びに冬季における休業日を除く。)	摘 要
期 間	日 数		
年 月 日から 年 月 日まで	日	日	
備 考			

改正第三回禁止令「第4条第3項」を「第4条第4項」とし、同禁止令「日曜日」を「土曜日、日曜日及び祝日」とする。

附則

この規則は、平成三十年四月一日から施行する。

平成三十年三月一日発行

発行者  
発行所

岐阜市藪田南二丁目一番一  
岐阜県庁

編

集

岐阜市三輪ふりんとびあ十三  
岐阜文芸社